

令和4年度 奈良県立香芝高等学校 学校評価総括表

【高等学校用】

| | |
|-------------------|--|
| 年度 | 令和4年度（中期計画1年目） |
| 本校の使命（スクール・ミッション） | これまでの本校での取組と成果の上に、生徒・保護者及び地域のニーズを踏まえ、生徒が「行きたい」、保護者が「行かせたい」、そして地域から信頼される学校を創り、以下の人材を育成します。 1 人権を尊重し、豊かな人間性と創造性を備えた人材 2 探究的な学習を通して、コミュニケーション能力や情報活用能力を備えた人材 3 地域の高校として、地域の未来を担っていく人材 |
| 年度重点目標 | (1) 新しい高校教育への対応 ① 観点別学習状況評価への完全対応 ② 主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善 ③ ICT機器を活用した授業の推進 (2) 自他の生命を尊重する心の育成と、規範意識の向上 ① ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事等を通して、主体性と協調性を身に付け、社会の一員として社会に貢献する意欲と責任ある態度の育成 ② 爽やかな挨拶と生活マナーの向上、端正な制服の着こなしの定着 ③ 交通ルールの遵守を中核に据えた安全教育の推進 (3) たくまいい心身の育成 ① 運動に主体的に取り組む姿勢と健康の保持増進への実践力の育成 ② ヘルスプロモーションの考え方に基づく体力向上の推進 ③ スクールカウンセラー等を活用した教育相談の充実 (4) 地域から信頼され応援される学校づくりの推進 ① 市の教育関係機関と連携した活動の展開 ② ボランティア活動及び地域行事等への積極的参加 ③ 近隣小・中学校との交流の推進 (5) 教職員の働き方改革への取組 ① ワークライフバランスを意識した教職員の業務改善 ② 定時退庁日（毎水曜日）を意識した業務改善 |

1 スクール・ポリシーの内容

| | | |
|---------------------|---------------------------------------|--|
| 教育方針 (スクール・ポリシー) | 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー) | 本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 本校の使命や教育方針を理解する生徒 2 基礎的な学力が身に付いており、主体的に学ぶ意欲の高い生徒 3 明るく、素直で、チャレンジ精神をもち、社会貢献の意識が高い生徒 |
| | 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー) | 本校では、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と、激動の社会に対応できる能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。 1 生徒一人一人の興味・関心や進路希望に対応するため、多様な科目選択ができるカリキュラムを編成します。 2 個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、ICTを最大限活用した授業を展開します。 3 情報活用能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を育むため、言語活動を重視した探究型の学習を行います。 4 学習意欲の向上を図り、主体的な学び・深い学びに繋げるため、ICTを効果的に活用した授業プログラムを展開します。 5 主体性と協働意識、他者尊重と社会貢献の精神を涵養するため、学校行事や課題活動、ボランティア活動などを計画的に組み入れます。 |
| | 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー) | 本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 個人の尊厳を重んじ、礼節を学び、常に和敬の心をもって自他の向上に努めることができる。(和敬) 2 学業に励み、真理を希求し、勤労と責任を重んじ、日々たゆまず努力し、新たな文化の創造に努めることができる。(創造) 3 常に心身の錬磨に励み、高い知性と健全な身体を培い、強固な意志とたくまい実践力を身に付けている。(錬磨) |

2 奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

| テーマ | 学校の教育活動に関する目標 | 令和6年度末の目標値等 | 令和4年度末の目標値等 | 令和4年度末の状況 | 自己評価 | 学校関係者評価 |
|---------------------------|-------------------------|---|---|-----------|------|---------|
| 1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ | 体力の向上 | 新体力テストスコアの校内平均値が県平均値以上 | 新体力テストスコアの校内平均値が県平均と同値 | | | |
| | 望ましい生活習慣の確立 | 1人あたり年度遅刻回数(怠情や不注意によるもの)が2回以下 | 1人あたり年度遅刻回数(怠情や不注意によるもの)が3回以下 | | | |
| 2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ | 自他を尊敬する和敬の心の涵養 | 校内生徒アンケートの設問「他人の気持ちを、きちんと思いやる事ができていますか」に肯定的回答が95%以上 | 校内生徒アンケートの設問「他人の気持ちを、きちんと思いやる事ができていますか」に肯定的回答が85%以上 | | | |
| | 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 | 生徒授業アンケートの設問「(授業中に)考えたり、活動したりする時間が十分にあった」の評価が3.5以上 | 生徒授業アンケートの設問「(授業中に)考えたり、活動したりする時間が十分にあった」の評価が3.3以上 | | | |
| | 学習意欲の向上 | 校内生徒アンケートの設問「授業中、充実感を感じていますか」に肯定的回答の割合が75%以上 | 校内生徒アンケートの設問「授業中、充実感を感じていますか」に肯定的回答の割合が60%以上 | | | |
| | ICTを活用した教育の推進 | 校内生徒アンケートの情報活用能力に関する設問に肯定的回答が入学時比で20%増 | 校内生徒アンケートの情報活用能力に関する設問に肯定的回答が入学時比で10%増 | | | |
| 3. 働く意欲と働く力をはぐくむ | 読書活動の推進 | 月に全く読書をしない生徒の割合50%以下 | 月に全く読書をしない生徒の割合60%以下 | | | |
| | インターンシップの充実 | アカデミックインターンシップを年度2校以上と実施 | アカデミックインターンシップを年度1校以上と実施 | | | |
| | 地元企業等との協働事業の実施 | 年度2回以上の実施 | 年度1回以上の実施 | | | |
| 4. 地域と協働して活躍する人を育てる | キャリア教育の推進 | 外部講師または社会人講師によるキャリア教育講演会を年度2回以上実施 | 外部講師または社会人講師によるキャリア教育講演会を年度1回以上実施 | | | |
| | コミュニティ・スクールの運営 | 学校運営協議会を年度3回開催 | 学校運営協議会を年度2回開催 | | | |
| | 郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進 | 「奈良TIME」のフィールドワーク及びプレゼンテーションを年度計3回以上実施 | 「奈良TIME」のフィールドワーク及びプレゼンテーションを年度計1回以上実施 | | | |
| 5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる | 地域と学校との交流の推進 | 相互交流事業を年度計5回以上実施 | 相互交流事業を年度計3回以上実施 | | | |
| | 人権教育の推進 | 人権学習集中ホームルーム及び外部講師による人権講演会、研修会を年度計5回以上実施 | 人権学習集中ホームルーム及び外部講師による人権講演会、研修会を年度計3回以上実施 | | | |
| | 学校いじめ防止方針に基づく取組の推進 | 校内生徒アンケートの設問「いじめや差別のない学校だと思える」に肯定的回答の割合が95%以上 | 校内生徒アンケートの設問「いじめや差別のない学校だと思える」に肯定的回答の割合が85%以上 | | | |
| | 個別の教育支援計画の活用 | 教育相談・特別支援教育委員会の年度5回以上の開催 | 教育相談・特別支援教育委員会の年度3回以上の開催 | | | |

3 評価結果の分析、今後の改善方策等

| |
|--|
| |
|--|